

第2章 結果の概要

転入者アンケート調査結果の概要

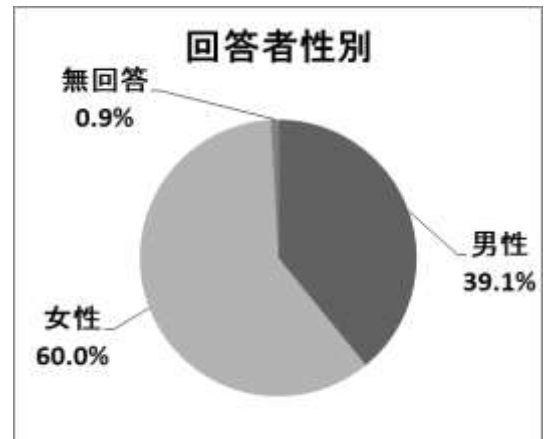
【1】転入者アンケート調査

○回答者の属性

問1 性別

回答者 340 人を男女別にみると、男性は 39.1%、女性は 60.0%、無回答は 0.9%であった。

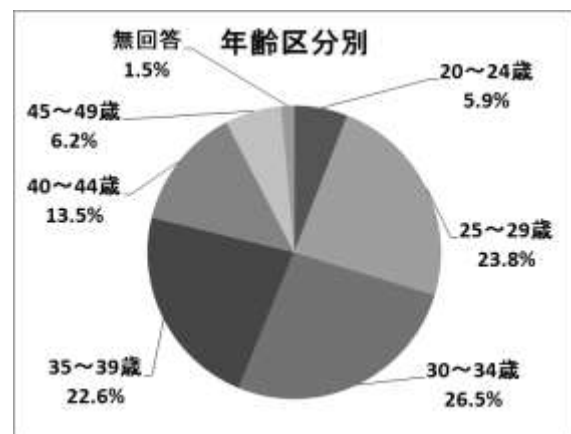
設問	選択肢	総数	割合
性別	男性	133	39.1%
	女性	204	60.0%
	無回答	3	0.9%
	計	340	100.0%



問2 年齢

年齢区分別にみると、「20～24歳」は 5.9%、「25～29歳」は 23.8%、「30～34歳」は 26.5%、「35～39歳」は 22.6%、「40～44歳」は 13.5%、「45～49歳」は 6.2%であり、20代は 29.7%、30代は 49.1%、40代は 19.7%という結果であった。

設問	選択肢	総数	割合
年代	20～24	20	5.9%
	25～29	81	23.8%
	30～34	90	26.5%
	35～39	77	22.6%
	40～44	46	13.5%
	45～49	21	6.2%
	50歳以上	0	0.0%
	無回答	5	1.5%
計	340	100.0%	

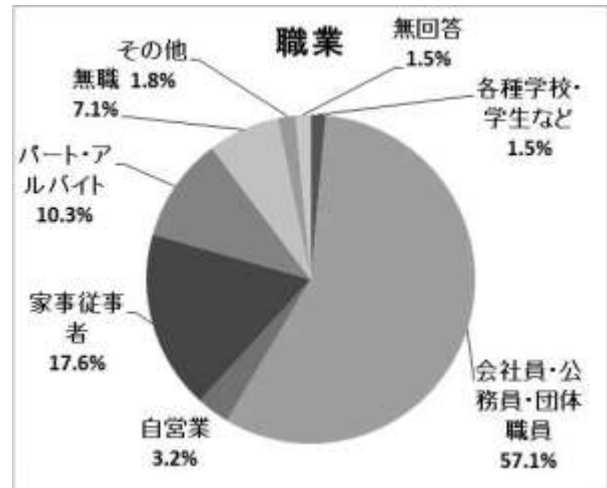


【1】転入者アンケート調査

問3 職業等

職業別にみると、「会社員・公務員・団体職員」は57.1%で最も高い割合となっている。

設問	選択肢	総数	割合
職業	各種学校・学生など	5	1.5%
	会社員・公務員・団体職員	194	57.1%
	自営業	11	3.2%
	家事従事者	60	17.6%
	パート・アルバイト	35	10.3%
	無職	24	7.1%
	その他	6	1.8%
	無回答	5	1.5%
	計	340	100.0%



問4 同居の子ども的人数

同居の子ども的人数について、「1人」と答えた方は31.8%、以下「2人」13.8%、「3人」2.6%、「4人」0.6%、また、「子どもはいない」と答えた方は49.4%、無回答は1.8%であった。同居の子どもがいる方は合わせて48.8%となり、いないと答えた方とほぼ同じ割合であった。

設問	子ども的人数	総数	割合
同居の子ども的人数	1人	108	31.8%
	2人	47	13.8%
	3人	9	2.6%
	4人	2	0.6%
	5人以上	0	0.0%
	子どもはいない	168	49.4%
	無回答	6	1.8%
	計	340	100.0%

設問	子どもの有無	総数	割合
同居の子ども有無	子どもがいる(1~5人)	166	48.8%
	子どもはいない	168	49.4%
	無回答	6	1.8%
	計	340	100.0%

【1】転入者アンケート調査

問5 子どもの年代別 (※複数回答可) (N=166)

問4で子どもがいると答えた方のうち、子どもを年代別にみると、「就学前」は86.7%、「小学生」は14.5%、「中学生」は4.2%であった。調査対象の年代を20から49歳としたことから、就学前の子どもの割合が高い結果となったと考えられる。

	選択肢	総数	割合
同居の子ども (※複数回答) 子どもの人数回答者が母数	就学前	144	86.7%
	小学生	24	14.5%
	中学生	7	4.2%
	高校生	6	3.6%
	専門学校・短大・大学・大学院など	1	0.6%
	既に学校教育終了	6	3.6%
	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計(回答総数)	188	-
	回答者数(子どもがいる方)	166	

問6 転入前の市区町村

転入以前に神奈川県内に住んでいた方は全体の78.5%、東京都内に住んでいた方は全体の20.0%であった。市区町村別でみると、横浜市が全体の15.6%で最も高く、以下、茅ヶ崎市8.2%、秦野市7.4%、藤沢市7.1%、川崎市と伊勢原市が6.5%と続いている。

・都県別

都県別	人数	比率
神奈川県	267	78.5%
東京都	68	20.0%
その他	1	0.3%
無回答	4	1.2%
計	340	100.0%

・市区町村別

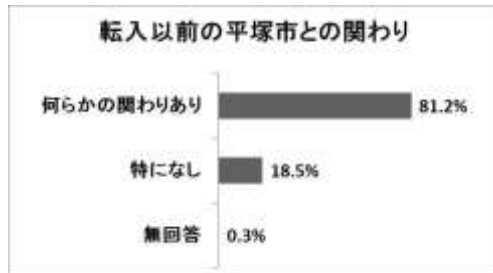
順位	市区町村	人数	比率	順位	市区町村	人数	比率
1	横浜市	53	15.6%	29	文京区	2	0.6%
2	茅ヶ崎市	28	8.2%	29	江東区	2	0.6%
3	秦野市	25	7.4%	29	北区	2	0.6%
4	藤沢市	24	7.1%	29	葛飾区	2	0.6%
5	川崎市	22	6.5%	29	八王子市	2	0.6%
5	伊勢原市	22	6.5%	29	三鷹市	2	0.6%
7	相模原市	15	4.4%	29	小平市	2	0.6%
8	小田原市	13	3.8%	29	国立市	2	0.6%
8	厚木市	13	3.8%	38	横須賀市	1	0.3%
10	大磯町	11	3.2%	38	南足柄市	1	0.3%
11	大田区	7	2.1%	38	山北町	1	0.3%
11	練馬区	7	2.1%	38	真鶴町	1	0.3%
13	二宮町	6	1.8%	38	湯河原町	1	0.3%
14	大和市	5	1.5%	38	台東区	1	0.3%
14	町田市	5	1.5%	38	墨田区	1	0.3%
14	無回答	5	1.5%	38	品川区	1	0.3%
17	新宿区	4	1.2%	38	目黒区	1	0.3%
17	世田谷区	4	1.2%	38	中野区	1	0.3%
17	江戸川区	4	1.2%	38	杉並区	1	0.3%
17	足立区	4	1.2%	38	豊島区	1	0.3%
21	鎌倉市	3	0.9%	38	立川市	1	0.3%
21	海老名市	3	0.9%	38	武蔵野市	1	0.3%
21	座間市	3	0.9%	38	府中市	1	0.3%
21	綾瀬市	3	0.9%	38	日野市	1	0.3%
21	寒川町	3	0.9%	38	清瀬市	1	0.3%
21	中井町	3	0.9%	38	武蔵村山市	1	0.3%
21	箱根町	3	0.9%	38	瑞穂町	1	0.3%
21	板橋区	3	0.9%	38	その他	1	0.3%
29	愛川町	2	0.6%				

【1】 転入者アンケート調査

問7 転入前の平塚市との関わり (※複数回答可)

転入以前の本市との関わりについて、「親や親族が住んでいる(いた)」が最も高く、全体の42.6%、次いで、「友人や知人が住んでいる(いた)」が34.7%、「買い物や遊びに来たことがある」が33.8%で続いている。また、「特になし」と答えた方は18.5%であり、特になしと無回答を除いた、平塚市と何らかの関わりがあった方は全体の81.2%であった。

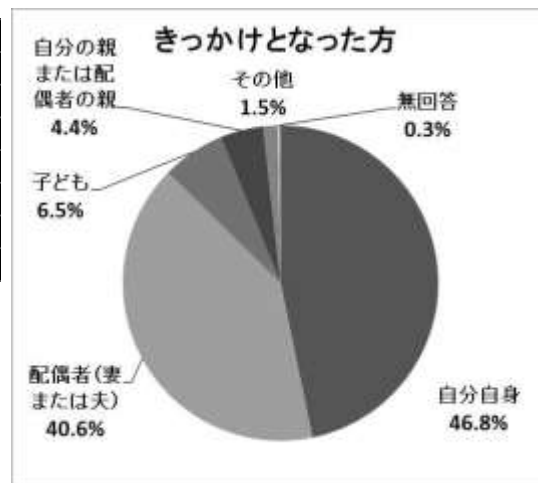
設問	平塚との関わり	総数	割合
平塚市との関わり	買い物や遊びに来たことがある	115	33.8%
	通勤や通学で通っていたことがある	75	22.1%
	以前に住んでいたことがある	86	25.3%
	親や親族が住んでいる(いた)	145	42.6%
	友人や知人が住んでいる(いた)	118	34.7%
	特になし	63	18.5%
	その他	21	6.2%
	無回答	1	0.3%
	計	624	183.5%
計(回答者数)		340	



問8 転入するきっかけとなった方

本市へ転入するきっかけとなった方について、「自分自身」が最も高く46.8%、次いで「配偶者」が40.6%であった。

設問	選択肢	総数	割合
主なきっかけの方	自分自身	159	46.8%
	配偶者(妻または夫)	138	40.6%
	子ども	22	6.5%
	自分の親または配偶者の親	15	4.4%
	その他	5	1.5%
	無回答	1	0.3%
	計	340	100.0%



【1】転入者アンケート調査

問9 転入することになったきっかけ（※複数回答可）

転入することになったきっかけは、「結婚」が最も高く 32.9%、次いで、「住宅の都合」が 27.9%、「仕事上の都合」が 21.8%で続いている。

男女別にみると、男性は「住宅の都合」が最も高く 38.3%、次いで「仕事上の都合」28.6%、「結婚」19.5%、「親や子との同居または近くに住む必要」18.8%、「通勤・通学の利便性を高めるため」18.0%となっている。

女性は、「結婚」が最も高く 41.7%、次いで「住宅の都合」21.6%、「仕事上の都合」17.6%、「親や子との同居または近くに住む必要」15.7%となっている。

年齢区別にきっかけの上位をみると、「20～24歳」では「仕事上の都合」が最も高く 45.0%。

「25～29歳」では「結婚」が最も高く 40.7%、次いで「仕事上の都合」が 27.2%。

「30～34歳」では「結婚」が最も高く 38.9%、次いで「住宅の都合」32.2%。

「35～39歳」では「住宅の都合」が最も高く 35.1%、次いで「結婚」が 26.0%。

「40～44歳」では「結婚」、「住宅の都合」が 30.4%で並んでいる。

「45～49歳」では、「結婚」、「住宅の都合」のほか、「親や子との同居」が 28.6%で並んでいる。

子どもの有無別でみると、「子どもがいる」方は、「住宅の都合」が 34.9%で最も高く、「結婚」(24.1%)、「子どもが生まれる」(22.9%)、「子育て環境を良くする」(21.1%)、「親や子との同居（近くに住む）」(21.1%)と続く。

「子どもはいない」方は、「結婚」が 42.3%で最も高く、「仕事上の都合」(24.4%)、「住宅の都合」(21.4%)、「通勤・通学の利便性を高める」(14.9%)と続く。

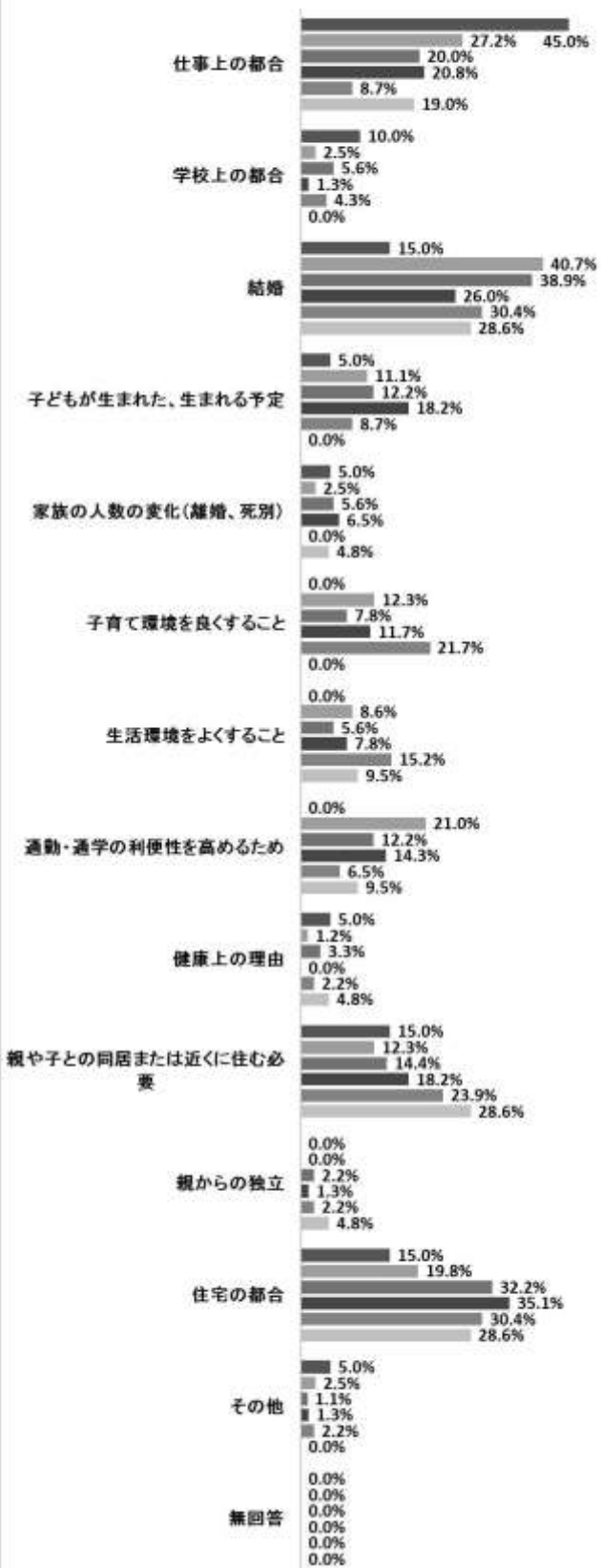
	選択肢	総数	割合
転入することになったきっかけ	仕事上の都合	74	21.8%
	学校上の都合	12	3.5%
	結婚	112	32.9%
	子どもが生まれた、生まれる予定	39	11.5%
	家族の人数の変化(離婚、死別)	15	4.4%
	子育て環境を良くすること	36	10.6%
	生活環境をよくすること	27	7.9%
	通勤・通学の利便性を高めるため	44	12.9%
	健康上の理由	7	2.1%
	親や子との同居または近くに住む必要	57	16.8%
	親からの独立	5	1.5%
	住宅の都合	95	27.9%
	その他	7	2.1%
	無回答	1	0.3%
	計(回答総数)	531	-
計(回答者数)	340	-	



【1】転入者アンケート調査

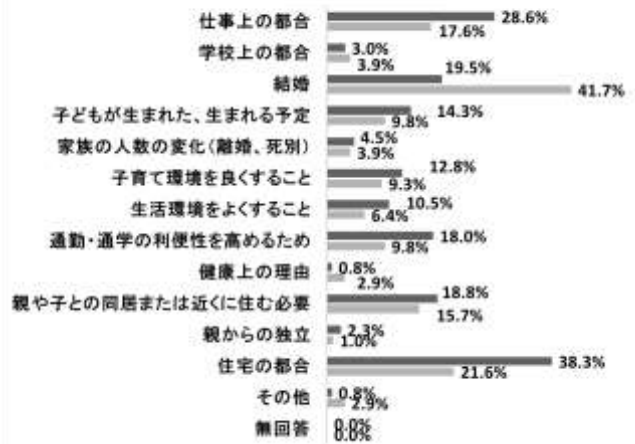
転入することになったきっかけ(年齢区分別)

■ 20～24歳 ■ 25～29歳 ■ 30～34歳 ■ 35～39歳 ■ 40～44歳 ■ 45～49歳



転入することになったきっかけ(男女別)

■ 男性 ■ 女性



男女別
男性(N=133)
女性(N=204)

転入することになったきっかけ(子ども有無別)

■ 子どもがいる ■ 子どもはいない



子ども有無別
子ども有(N=133)
子ども無(N=204)

年齢区分別

20～24歳(N=20) 24～29歳(N=81) 30～34歳(N=90)
35～39歳(N=77) 40～44歳(N=46) 45～49歳(N=21)

【1】転入者アンケート調査

問10 他の市区町村の検討状況

「他の市区町村も検討した」は38.5%、「平塚市に決めていたので、他に検討しなかった」は32.6%、「平塚市に住むことが決まっていた（社宅・家族の持ち家など）」は28.5%となった。全体の約70%は平塚市を選択して転入した方、残りの約30%はすでに平塚市内で住む場所が決まっていたことがわかる。

	選択肢	全体	割合
平塚市以外の検討状況	他の市区町村も検討した	131	38.5%
	平塚市に決めていたので、他に検討しなかった	111	32.6%
	平塚市に住むことが決まっていた（社宅、家族の持ち家など）	97	28.5%
	無回答	1	0.3%
	計	340	100.0%

問11 転入先の検討にあたり重視した条件（※複数回答可）

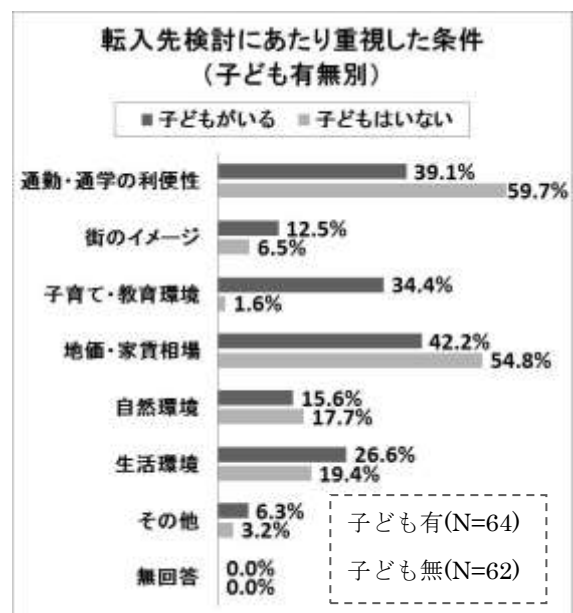
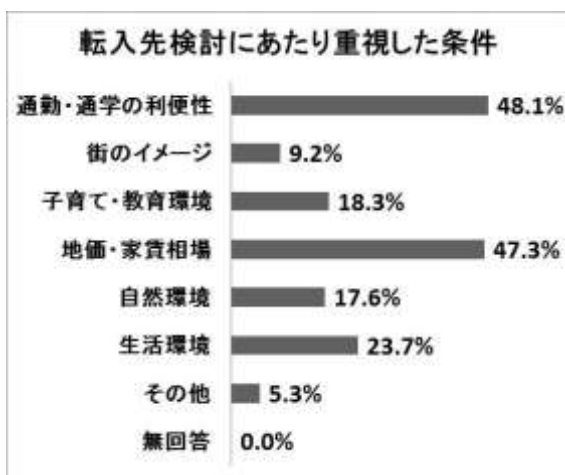
（N=131 問10で「他の市区町村も検討した」方が回答）

全体でみると、「通勤・通学の利便性」は48.1%で最も高く、次いで「地価・家賃相場」は47.3%。年齢区別にみると、「20～34歳」では「通勤・通学の利便性」をより重視する傾向があるが、「35～49歳」では「地価・家賃相場」をより重視する傾向が見られる。

子どもの有無別でみると、「子どもがいる」方は、「地価・家賃相場」42.2%、「通勤・通学の利便性」39.1%に次いで、「子育て・教育環境」が34.4%と高い割合を示している

「子どもはいない」方は、「通勤・通学の利便性」59.7%、「地価・家賃相場」54.8%が他の選択肢に比べて特に高い割合を示している。

「子育て・教育環境」については、子どもの有無により、割合に大きな差が見られた。



【1】転入者アンケート調査

問12 平塚市以外に検討した市区町村（※複数回答可）

（N=131 問10で「他の市区町村も検討した」方が回答）

平塚市以外に検討した市区町村の割合は、茅ヶ崎市が最も高く32.1%、次いで藤沢市22.1%、横浜市15.3%、秦野市13.0%、伊勢原市12.2%、大磯町10.7%と続いている。

・検討した市区町村（上位11位）

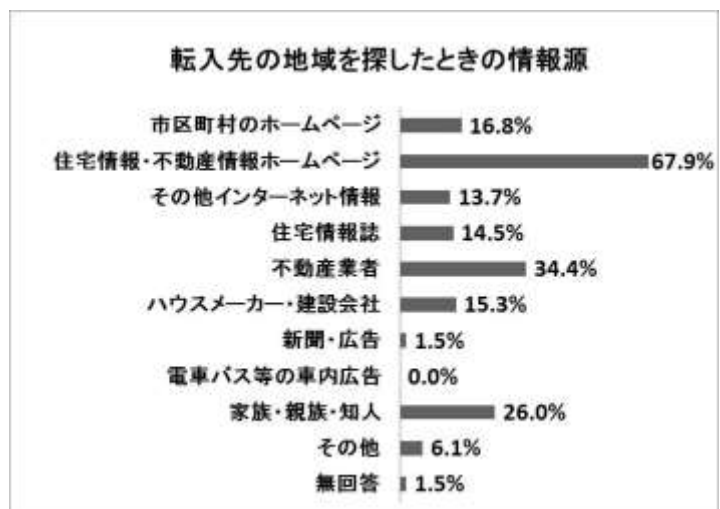
順位	市区町村	人数	割合
1	茅ヶ崎市	42	32.1%
2	藤沢市	29	22.1%
3	横浜市	20	15.3%
4	秦野市	17	13.0%
5	伊勢原市	16	12.2%
6	大磯町	14	10.7%
7	厚木市	12	9.2%
8	鎌倉市	8	6.1%
9	川崎市	5	3.8%
9	相模原市	5	3.8%
9	寒川町	5	3.8%

問13 転入先の地域を探したときの情報源（※複数回答可）

（N=131 問10で「他の市区町村も検討した」方が回答）

転入先の地域を探したときの情報源は、「住宅情報・不動産情報ホームページ」が67.9%で最も高く、次いで「不動産業者」が34.4%、「家族・親族・知人」が26.0%と続いている。「市区町村のホームページ」は16.8%に留まっている。

	転入先の情報源	総数	割合
転入先の 情報源	市区町村のホームページ	22	16.8%
	住宅情報・不動産情報ホームページ	89	67.9%
	その他インターネット情報	18	13.7%
	住宅情報誌	19	14.5%
	不動産業者	45	34.4%
	ハウスメーカー・建設会社	20	15.3%
	新聞・広告	2	1.5%
	電車バス等の車内広告	0	0.0%
	家族・親族・知人	34	26.0%
	その他	8	6.1%
	無回答	2	1.5%
	計	259	197.7%
		計(回答者数)	131



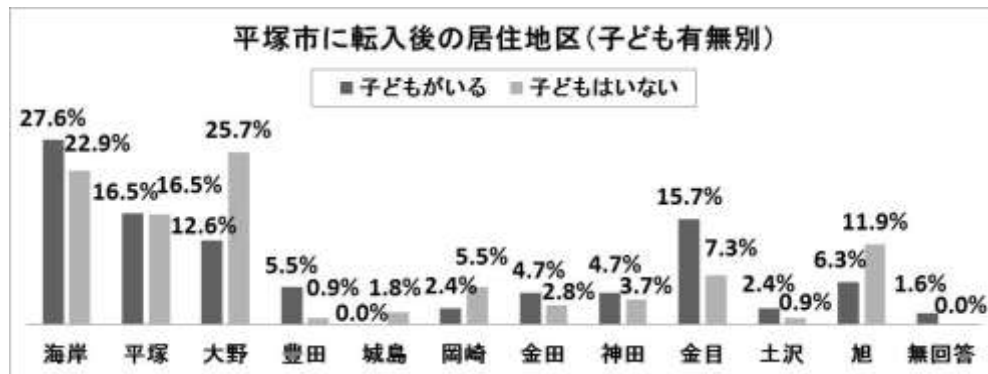
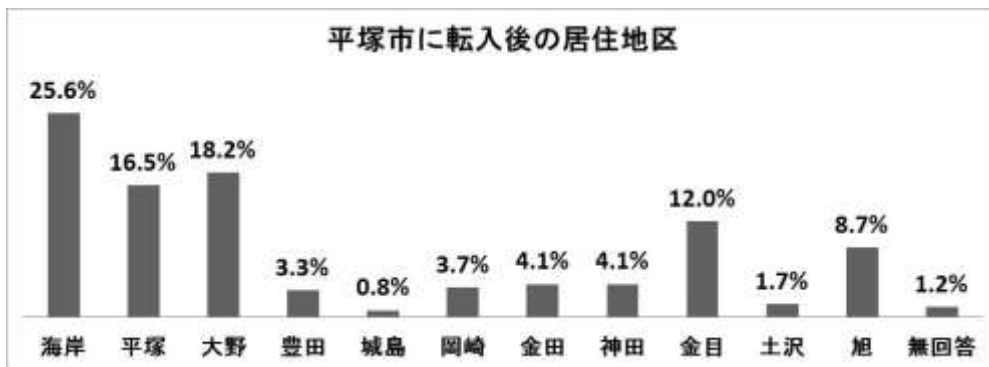
【1】転入者アンケート調査

問14 転入後の平塚市内の居住地区 (N=242 問10で「他の市区町村も検討した」及び「平塚市に決めていたので、他に検討しなかった」方が回答)

海岸地区が25.6%で最も高く、大野地区18.2%、平塚地区16.5%、金目地区12.0%、旭地区8.7%と続いている。

子どもの有無別でみると、「子どもがいる」方の地区別割合は、海岸地区で27.6%と最も高く、平塚地区16.5%、金目地区15.7%と続いております。「子どもはいない」と答えた方の地区別割合は、大野地区が25.7%で最も高く、海岸地区22.9%、平塚地区16.5%と続いております。

人口割合と比較すると、金目地区への「子どもがいる」方の転入割合が高いことがわかる。



子ども有無別
子ども有(N=127)
子ども無(N=109)

(参考) H27.7.1時点の人口の地区別比率と転入割合(N=242)

	地区	総人口	人口割合	転入割合
1	海岸	40,400	15.8%	25.6%
2	平塚	39,053	15.2%	16.5%
3	大野	57,352	22.4%	18.2%
4	豊田	5,388	2.1%	3.3%
5	城島	4,050	1.6%	0.8%
6	岡崎	9,270	3.6%	3.7%
7	金田	10,228	4.0%	4.1%
8	神田	24,085	9.4%	4.1%
9	金目	18,024	7.0%	12.0%
10	土沢	7,195	2.8%	1.7%
11	旭	41,366	16.1%	8.7%
	無回答			1.2%
	計	256,411	100.0%	100.0%

【1】転入者アンケート調査

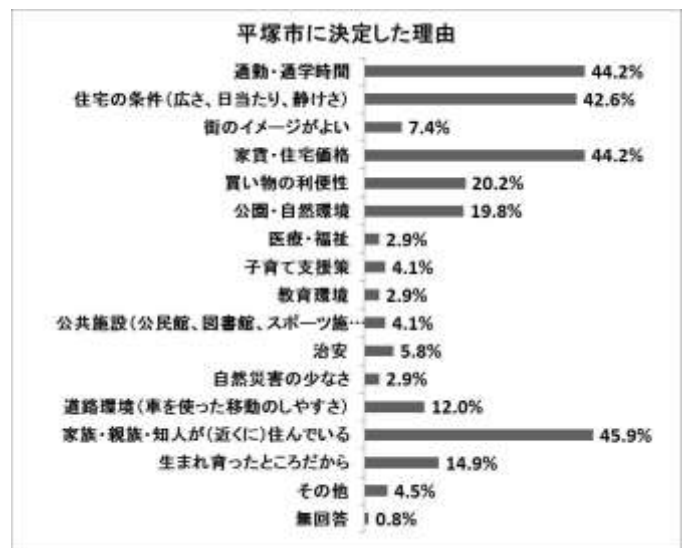
問15 転入先を平塚市に決めた理由 (N=242 問10で「他の市区町村も検討した」及び「平塚市に決めていたので、他に検討しなかった」方が回答) (※複数回答可)

全体では「家族・親族・知人が(近くに)住んでいる」が45.9%で最も高く、「通勤・通学時間」「家賃・住宅価格」が並んで44.2%、「住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)」が42.6%で続き、これら4つが高い割合を示している。

問11で、転入先の条件として重視するものとして「通勤・通学の利便性」、「地価・家賃相場」が高い割合となっていたが、決定理由としてもこれらが上位となっている。

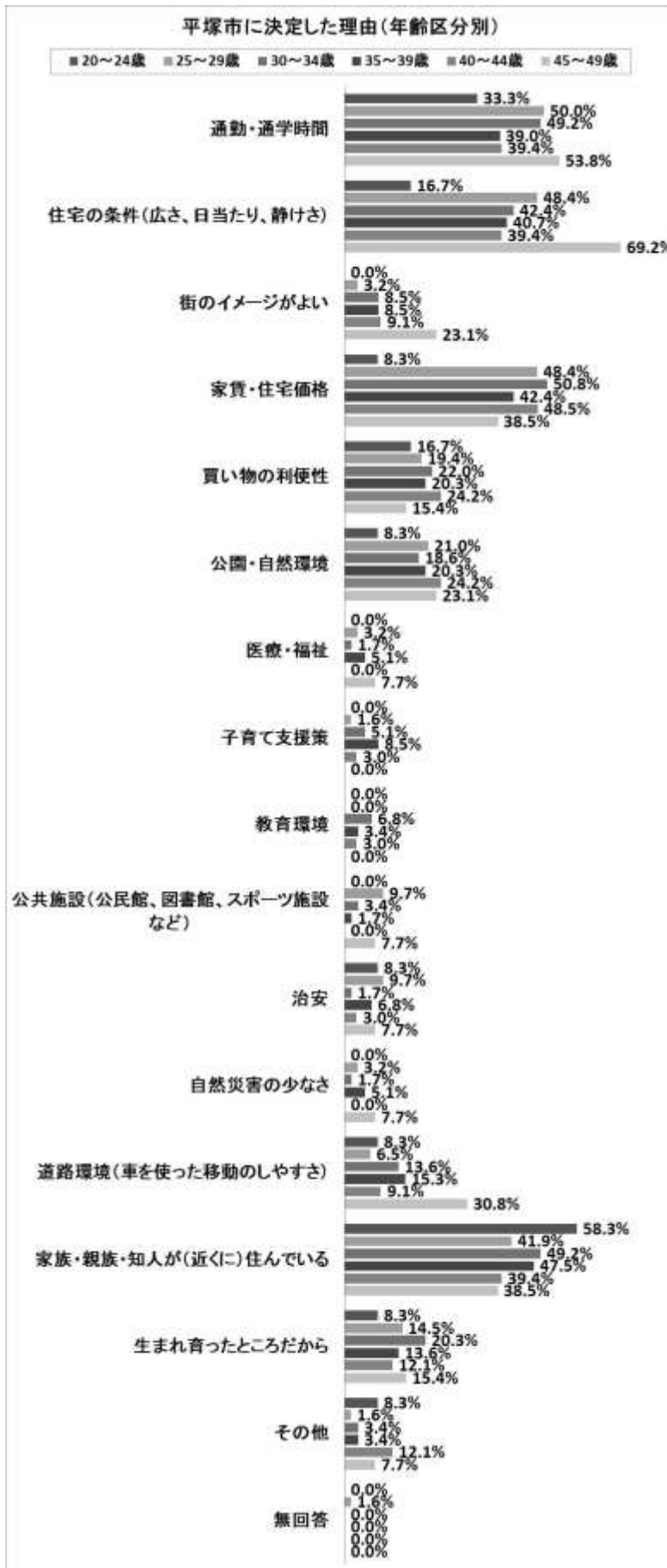
また、「子どもがいる」方は、問11で転入先として重視する条件として「通勤・通学の利便性」、「地価・家賃相場」のほか、「子育て・教育環境」が高い割合であったが、本市に決定した理由として、「子育て支援策」(6.3%)、「教育環境」(4.7%)は低い割合となった。

平塚市に決定した理由		総数	割合
決定理由	通勤・通学時間	107	44.2%
	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)	103	42.6%
	街のイメージがよい	18	7.4%
	家賃・住宅価格	107	44.2%
	買い物の利便性	49	20.2%
	公園・自然環境	48	19.8%
	医療・福祉	7	2.9%
	子育て支援策	10	4.1%
	教育環境	7	2.9%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設など)	10	4.1%
	治安	14	5.8%
	自然災害の少なさ	7	2.9%
	道路環境(車を使った移動のしやすさ)	29	12.0%
	家族・親族・知人が(近くに)住んでいる	111	45.9%
	生まれ育ったところだから	36	14.9%
	その他	11	4.5%
	無回答	2	0.8%
計(回答総数)	676	279.3%	
回答者数	242		



子ども有無別
 子ども有(N=127)
 子ども無(N=109)

【1】転入者アンケート調査



年齢区分別
 20~24歳(N=12)
 24~29歳(N=62)
 30~34歳(N=59)
 35~39歳(N=59)
 40~44歳(N=33)
 45~49歳(N=13)

【1】 転入者アンケート調査

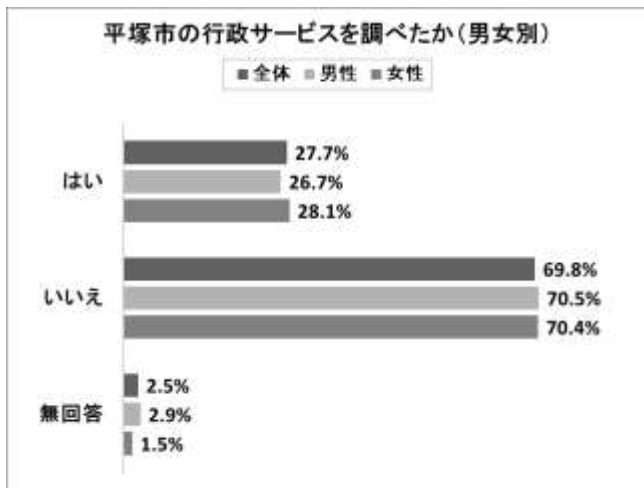
問16 転入先を平塚市に決めるにあたり、平塚市の行政サービスを調べたか。

(N=242 問10で「他の市区町村も検討した」及び「平塚市に決めていたので、他に検討しなかった」方が回答)

全体では「はい」が27.7%、「いいえ」が69.8%となっている。

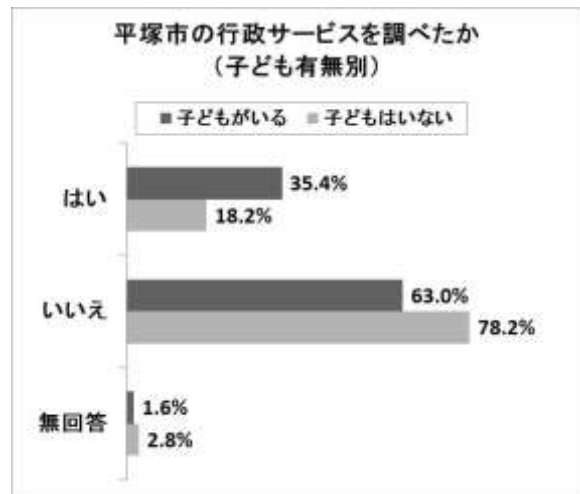
年齢区分別でみると、「はい」と答えた方は、「20～24歳」が0.0%で最も低く、「35～39歳」が35.6%で最も高かった。

子どもの有無別でみると、「はい」と答えた方は、「子どもがいる」方が3人に1人、「子どもはいない」方で約5人に1人であり、「子どもがいる」方のほうが行政サービスを調べる傾向にあることがわかった。



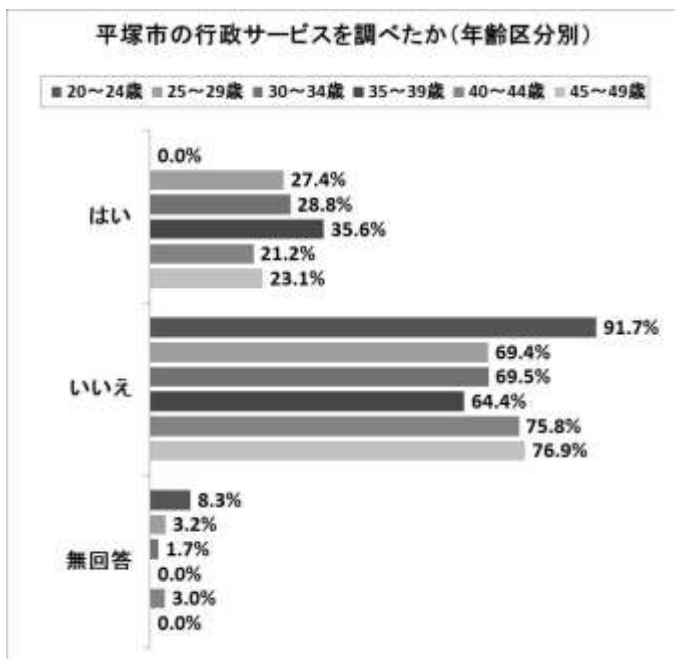
男女別

男性(N=105) 女性(N=135)



子ども有無別

子ども有(N=127) 子ども無(N=109)



年齢区分別

20～24歳(N=12)

24～29歳(N=62)

30～34歳(N=59)

35～39歳(N=59)

40～44歳(N=33)

45～49歳(N=13)

【1】転入者アンケート調査

問17 転入前と現在の住居の種類

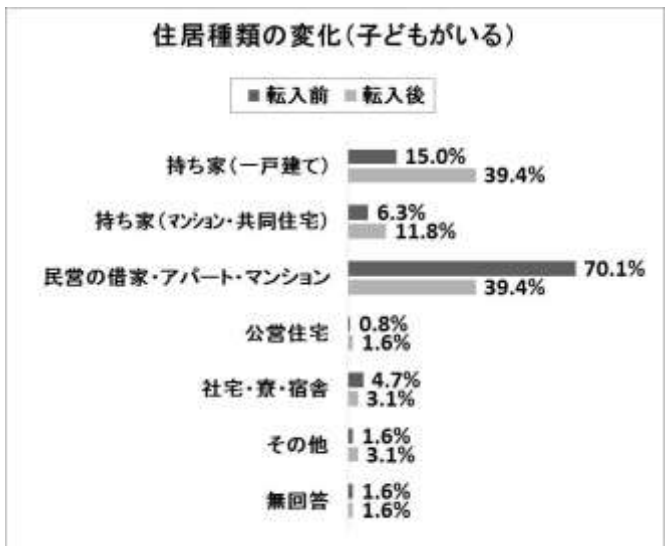
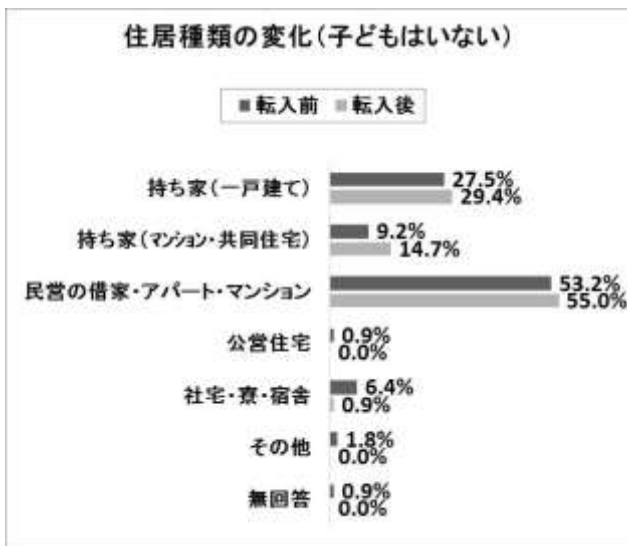
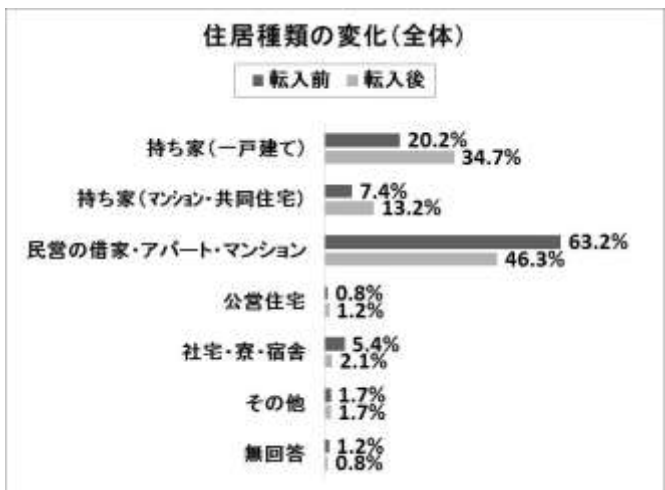
(N=242 問10で「他の市区町村も検討した」及び「平塚市に決めていたので、他に検討しなかった」方が回答)

転入前後の住居の割合の変化は、「持ち家（一戸建て）」が転入前 20.2%から転入後 34.7%へ、「持ち家（マンション・共同住宅）」が転入前 7.4%から転入後 13.2%、「民営の借家・アパート・マンション」が転入前 63.2%から転入後 46.3%となっており、一戸建てとマンション等を合わせた持ち家の割合は、転入前 27.6%から転入後 47.9%に高まっている。

年齢区別にみると、30代、40代で、特に持ち家の割合が高まっている。

子どもの有無別にみると、「子どもはいない」方は転入前後であまり変化が見られないが、「子どもがいる」方は、「持ち家（一戸建て）」が転入前 15.0%から転入後 39.4%、「持ち家（マンション・共同住宅）」が転入前 6.3%から転入後 11.8%、「民営の借家・アパート・マンション」が転入前 70.1%から転入後 39.4%となっており、持ち家の割合、特に一戸建ての割合が高まっている。

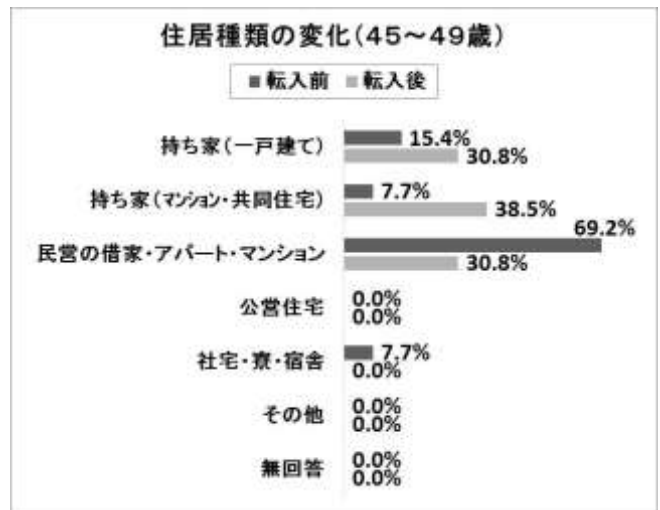
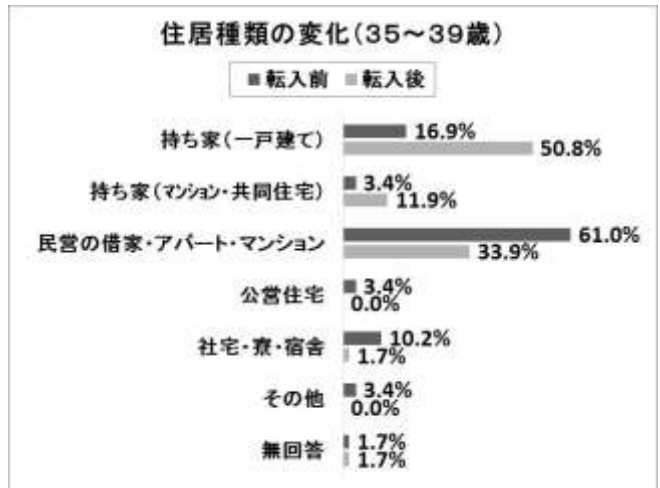
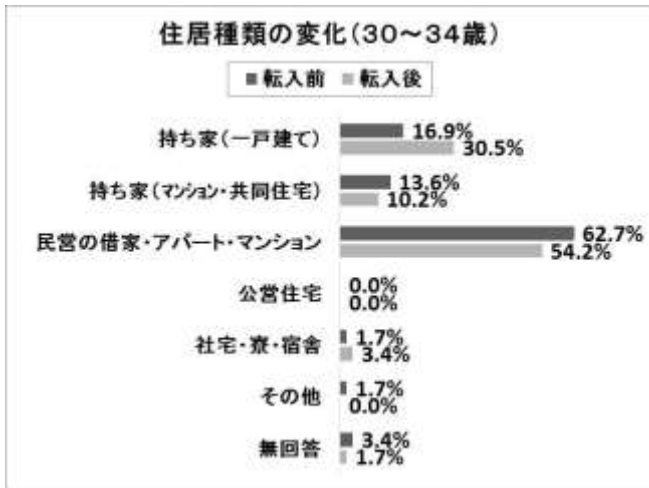
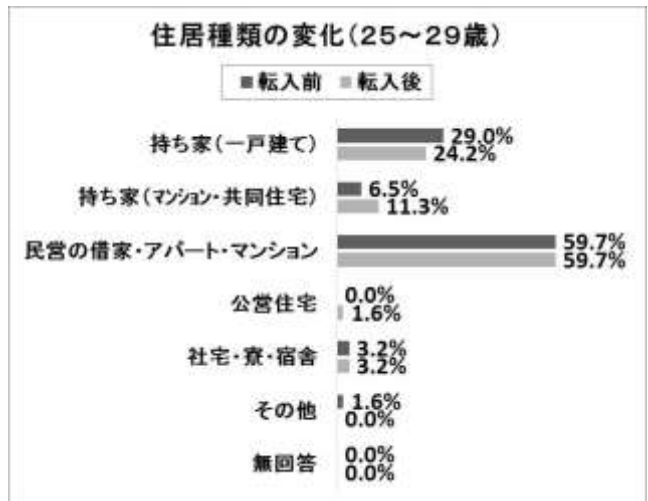
住居種類	転入前	転入後	転入前	転入後
持ち家(一戸建て)	49	84	20.2%	34.7%
持ち家(マンション・共同住宅)	18	32	7.4%	13.2%
民営の借家・アパート・マンション	153	112	63.2%	46.3%
公営住宅	2	3	0.8%	1.2%
社宅・寮・宿舍	13	5	5.4%	2.1%
その他	4	4	1.7%	1.7%
無回答	3	2	1.2%	0.8%
計	242	242	100.0%	100.0%



子ども有無別

子ども有(N=127) 子ども無(N=109)

【1】転入者アンケート調査



年齢区分別
 20～24歳(N=12) 24～29歳(N=62) 30～34歳(N=59)
 35～39歳(N=59) 40～44歳(N=33) 45～49歳(N=13)

【1】転入者アンケート調査

問18 転入前と現在の世帯構成

(N=242 問10で「他の市区町村も検討した」及び「平塚市に決めていたので、他に検討しなかった」方が回答)

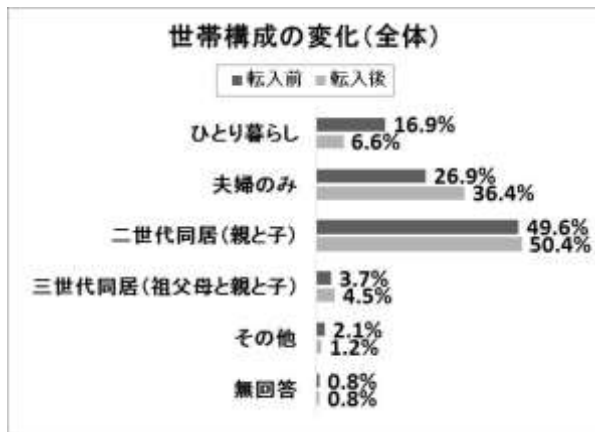
転入前後の割合の変化は、「ひとり暮らし」が転入前 16.9%から転入後 6.6%、「夫婦のみ」が転入前 26.9%から転入後 36.4%、「二世帯同居(親と子)」が転入前 49.6%から転入後 50.4%となっており、「ひとり暮らし」の割合が減少し、「夫婦のみ」の割合が高まっている。

男女別にみると、男性は「ひとり暮らし」が転入前 18.1%から転入後 11.4%、「夫婦のみ」が転入前 25.7%から転入後 34.3%となり、一人暮らしの割合が減少し夫婦のみの割合が高まっている、女性についても、「ひとり暮らし」が転入前 15.6%から転入後 2.2%、「夫婦のみ」が転入前 27.4%から転入後 38.5%と同様の傾向を示している。

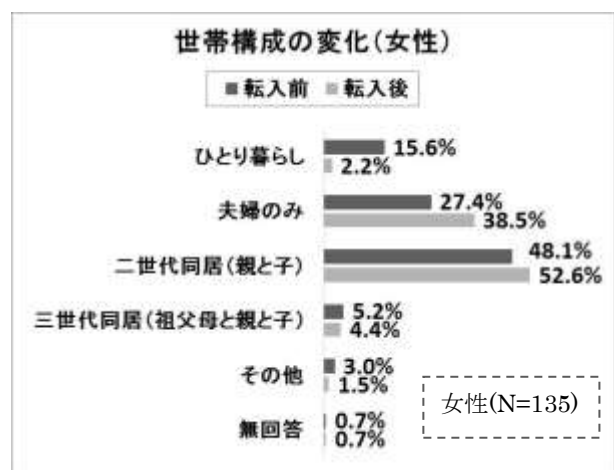
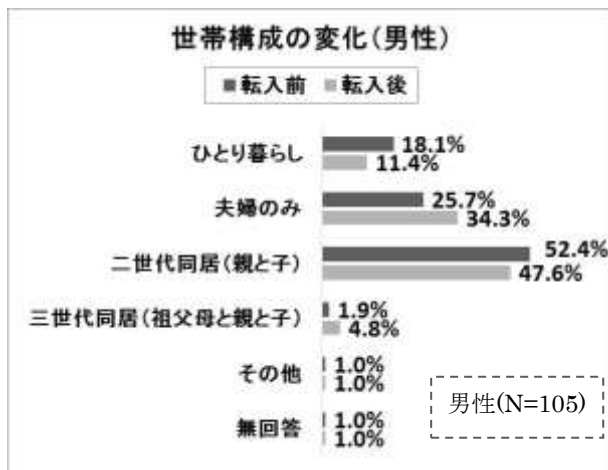
年齢区分別にみると、全体的な傾向としては、一人暮らしの割合が減少し、夫婦の割合の増加が見られる。

子どもの有無別でみると、「子どもがいる」方は、「夫婦のみ」が転入前 24.4%から転入後 7.9%と大きく減少し、「二世帯同居(親と子)」が転入前 63.8%から転入後 83.5%、「三世帯同居(祖父母と親と子)」が転入前 3.9%から転入後 6.3%と割合が高まっている。

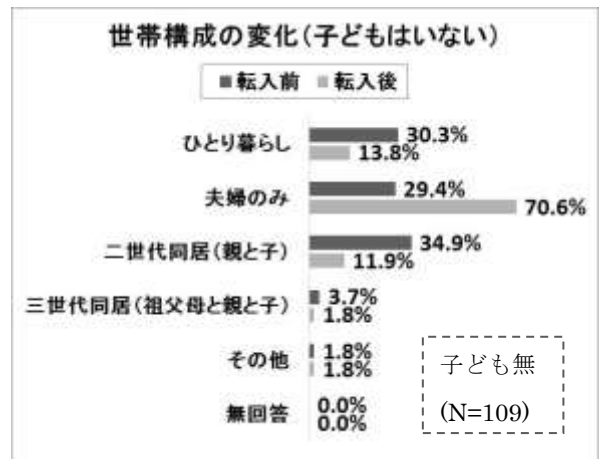
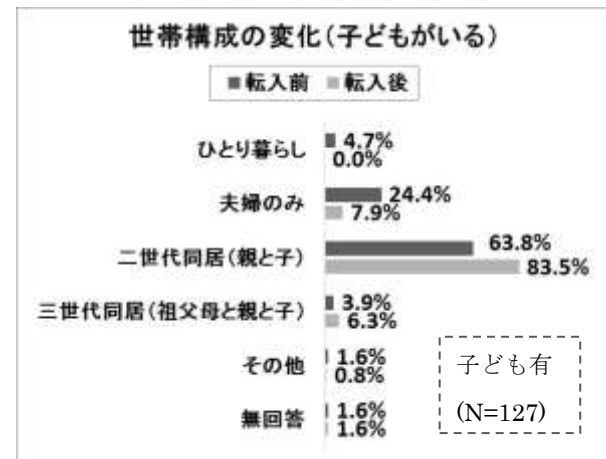
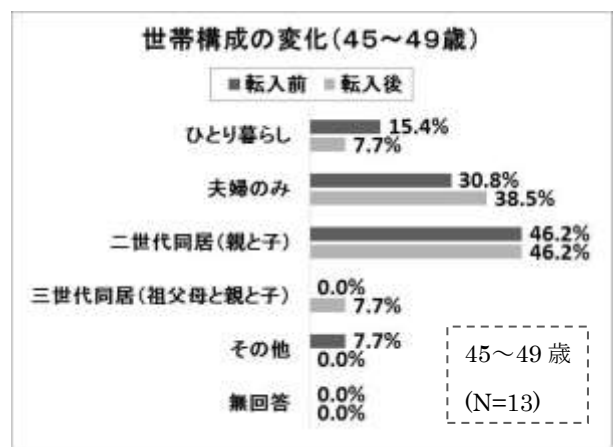
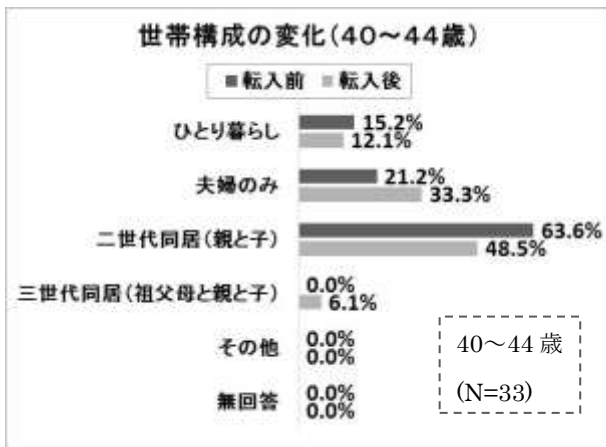
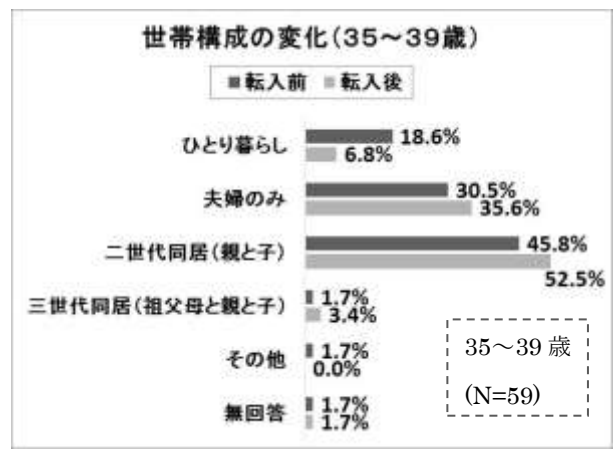
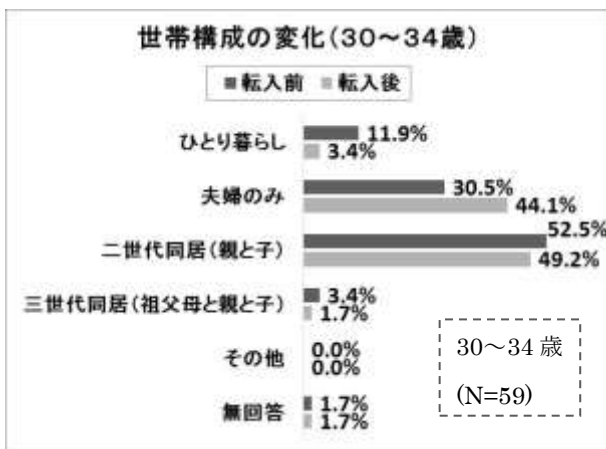
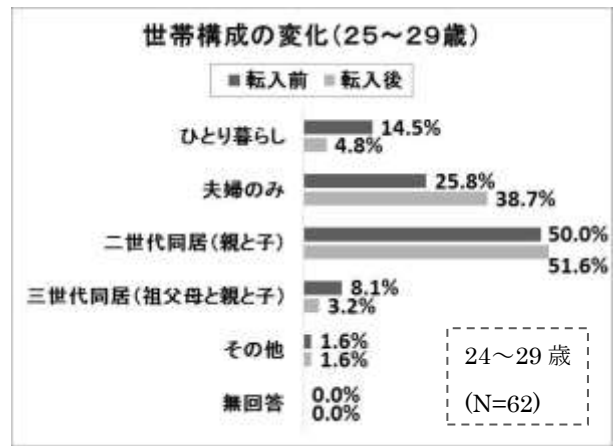
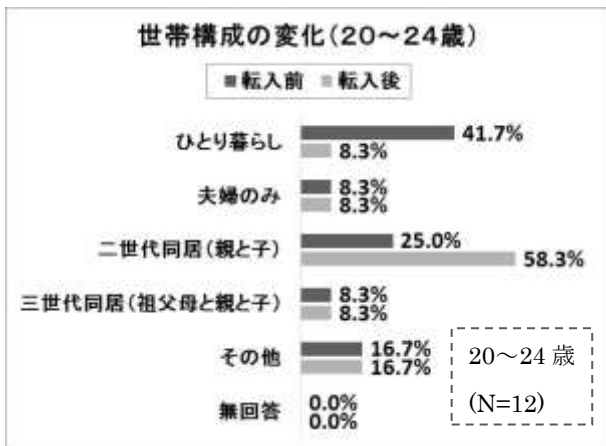
「子どもはいない」方は、「一人暮らし」が転入前 30.3%から転入後 13.8%、「二世帯同居(親と子)」が転入前 34.9%から転入後 11.9%とそれぞれ減少し、「夫婦のみ」が転入前 29.4%から転入後 70.6%と割合が高まっている。



世帯構成	集計		割合	
	転入前	転入後	転入前	転入後
ひとり暮らし	41	16	16.9%	6.6%
夫婦のみ	65	88	26.9%	36.4%
二世帯同居(親と子)	120	122	49.6%	50.4%
三世帯同居(祖父母と親と子)	9	11	3.7%	4.5%
その他	5	3	2.1%	1.2%
無回答	2	2	0.8%	0.8%
計	242	242		



【1】 転入者アンケート調査



【1】転入者アンケート調査

問19 転入前と現在で通勤・通学場所が変わったか

(N=340 以降全員が回答) ※主たる家計を支える方の勤務場所

全体では、通勤・通学場所が「変わった」が21.8% (N=74)、「変わっていない」が65.0% (N=221)、「通勤・通学していない」が11.8%(N=40)となっている。転入前後で通勤・通学場所が変わった方は2割程度という結果となった。

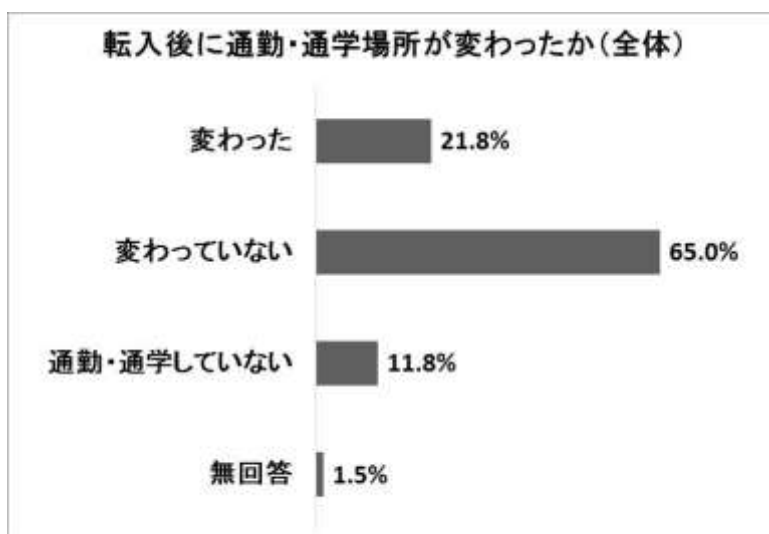
通勤・通学先は、神奈川県内が76.3%、東京都内が19.0%であり、市区町村別では平塚市が28.5%で最も高く、以下、横浜市10.5%、伊勢原市5.4%、厚木市4.7%、東京都港区4.7%、藤沢市4.4%、茅ヶ崎市4.1%、秦野市3.7%、東京都品川区2.7%と続いている。

「変わった」方の現在の通勤・通学地をみると、神奈川県内が93.2%、東京都内が2.7%であり、ほとんどが県内への通勤・通学である。市区町村別にみると、平塚市が50.0%と最も高く、以下、横浜市8.1%、伊勢原市6.8%、藤沢市4.1%、茅ヶ崎市4.1%、秦野市4.1%、厚木市4.1%と続いている。

「変わっていない」方の通勤・通学先をみると、神奈川県内が70.6%、東京都内が24.4%であり、「変わった」方にくらべ東京圏への通勤の割合が高い。市区町村別でみると、平塚市が最も高く21.3%、次いで横浜市11.3%、東京都港区5.4%、厚木市5.0%、伊勢原市5.0%、藤沢市4.5%、茅ヶ崎市4.1%、秦野市3.6%、東京都品川区3.6%、川崎市2.7%、東京都千代田区2.7%と続いている。

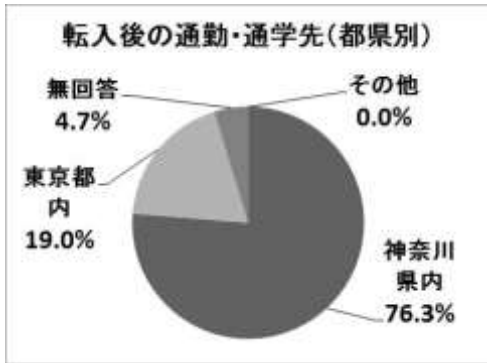
問15で「通勤・通学時間」が本市に転入を決定した理由の上位であったように、本市に通勤・通学している方が比較的高い割合を示し、また、鉄道や車などで比較的通いやすい場所が通勤・通学地となっていることがわかる。

設問	選択肢	総数	割合
通勤・通学場所の変更の有無	変わった	74	21.8%
	変わっていない	221	65.0%
	通勤・通学していない	40	11.8%
	無回答	5	1.5%
	計	340	100.0%



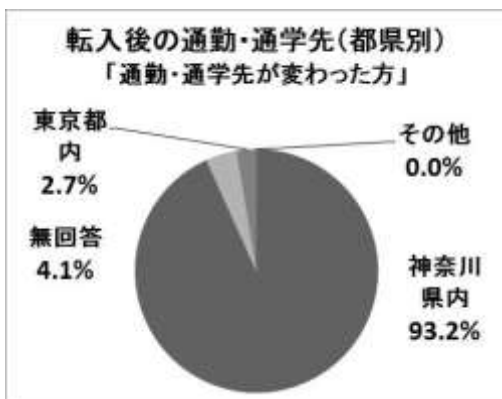
【1】転入者アンケート調査

・現在の通勤・通学先（都県別、市区町村別）（N = 295）



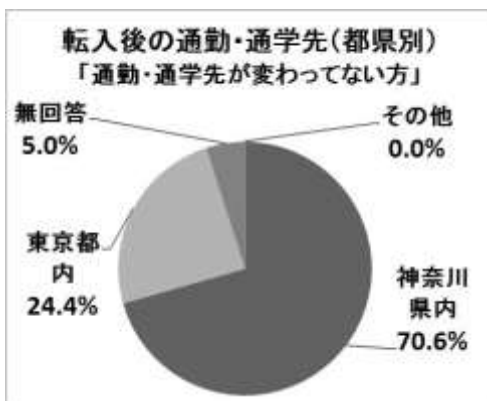
順位	市区町村	総数	割合	順位	市区町村	総数	割合
1	平塚市	84	28.5%	20	横須賀市	2	0.7%
2	横浜市	31	10.5%	20	大和市	2	0.7%
3	無回答	19	6.4%	20	綾瀬市	2	0.7%
4	伊勢原市	16	5.4%	20	寒川町	2	0.7%
5	厚木市	14	4.7%	20	新宿区	2	0.7%
5	港区	14	4.7%	20	文京区	2	0.7%
7	藤沢市	13	4.4%	20	世田谷区	2	0.7%
8	茅ヶ崎市	12	4.1%	20	渋谷区	2	0.7%
9	秦野市	11	3.7%	28	逗子市	1	0.3%
10	品川区	8	2.7%	28	中井町	1	0.3%
11	川崎市	7	2.4%	28	松田町	1	0.3%
12	相模原市	6	2.0%	28	箱根町	1	0.3%
12	千代田区	6	2.0%	28	愛川町	1	0.3%
12	小田原市	6	2.0%	28	台東区	1	0.3%
15	鎌倉市	5	1.7%	28	中野区	1	0.3%
15	海老名市	5	1.7%	28	豊島区	1	0.3%
15	中央区	5	1.7%	28	江戸川区	1	0.3%
18	大田区	3	1.0%	28	立川市	1	0.3%
18	江東区	3	1.0%	28	調布市	1	0.3%

・「通勤・通学先が変わった方（N = 74）」の現在の通勤・通学先（都県別、市区町村別）



順位	市区町村	総数	割合
1	平塚市	37	50.0%
2	横浜市	6	8.1%
3	伊勢原市	5	6.8%
4	藤沢市	3	4.1%
4	茅ヶ崎市	3	4.1%
4	秦野市	3	4.1%
4	厚木市	3	4.1%
4	無回答	3	4.1%
9	鎌倉市	2	2.7%
9	港区	2	2.7%
11	川崎市	1	1.4%
11	相模原市	1	1.4%
11	横須賀市	1	1.4%
11	小田原市	1	1.4%
11	逗子市	1	1.4%
11	海老名市	1	1.4%
11	寒川町	1	1.4%

・「通勤・通学先が変わってない方（N = 221）」の現在の通勤・通学先（都県別、市区町村別）



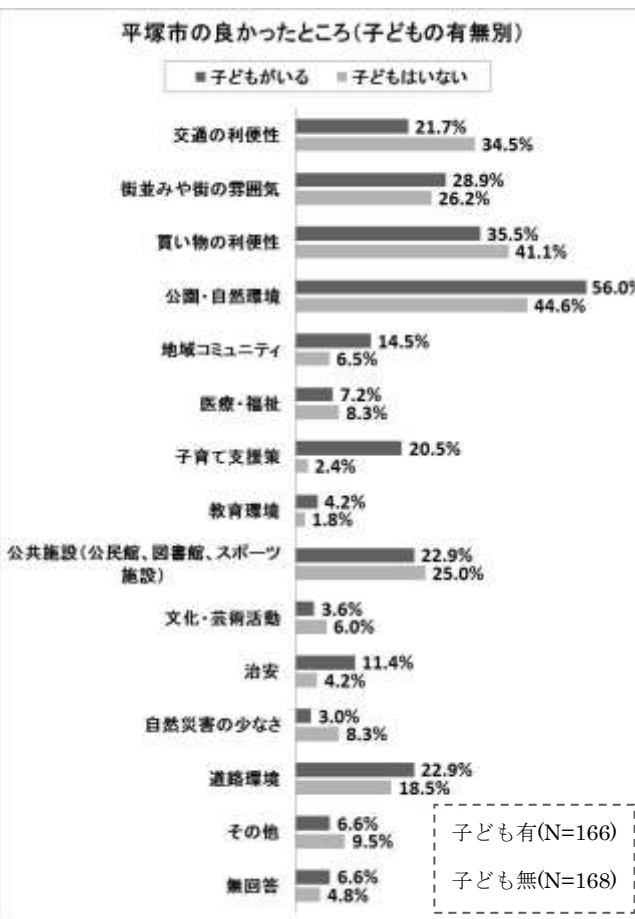
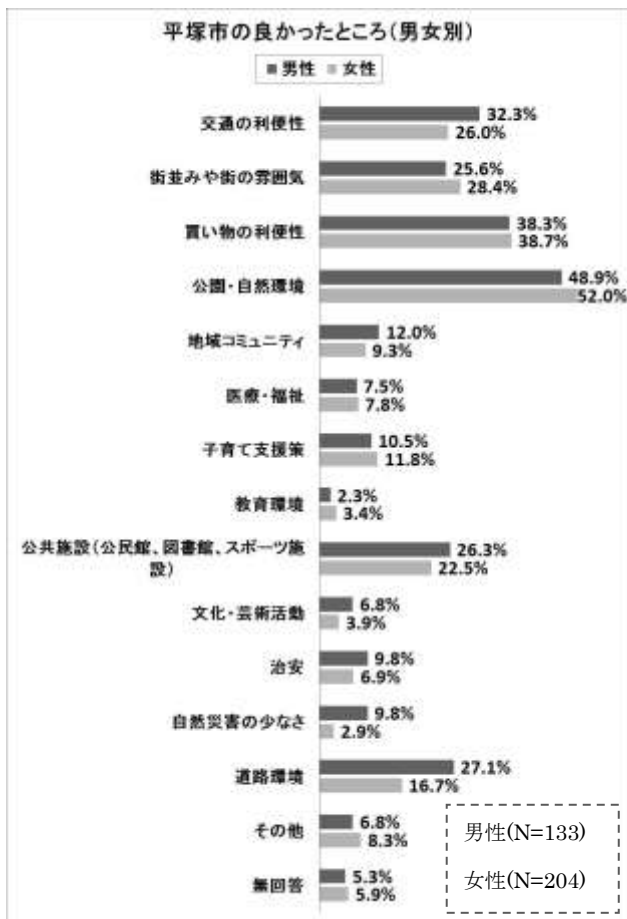
順位	市区町村	総数	割合	順位	市区町村	総数	割合
1	平塚市	47	21.3%	20	大和市	2	0.9%
2	横浜市	25	11.3%	20	綾瀬市	2	0.9%
3	無回答	16	7.2%	20	新宿区	2	0.9%
4	港区	12	5.4%	20	文京区	2	0.9%
5	厚木市	11	5.0%	20	世田谷区	2	0.9%
5	伊勢原市	11	5.0%	20	渋谷区	2	0.9%
7	藤沢市	10	4.5%	26	横須賀市	1	0.5%
8	茅ヶ崎市	9	4.1%	26	寒川町	1	0.5%
9	秦野市	8	3.6%	26	中井町	1	0.5%
9	品川区	8	3.6%	26	松田町	1	0.5%
11	川崎市	6	2.7%	26	箱根町	1	0.5%
11	千代田区	6	2.7%	26	愛川町	1	0.5%
13	相模原市	5	2.3%	26	台東区	1	0.5%
13	小田原市	5	2.3%	26	中野区	1	0.5%
13	中央区	5	2.3%	26	豊島区	1	0.5%
16	海老名市	4	1.8%	26	江戸川区	1	0.5%
17	鎌倉市	3	1.4%	26	立川市	1	0.5%
17	江東区	3	1.4%	26	調布市	1	0.5%
17	大田区	3	1.4%				

【1】 転入者アンケート調査

問20 平塚市に住んでみて良かったところ (※複数回答可)

全体でみると「公園・自然環境」が50.6%で最も高く、以下、「買い物の利便性」38.2%、「交通の利便性」28.5%、「街並みや街の雰囲気」27.1%、「公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設など）」24.1%と続いている。「公園・自然環境」は、男女別、年齢区分別、子どもの有無別のいずれにおいても高い割合を示している。

	印象(良かったところ)	総数	割合
印象(良かったところ)	交通の利便性	97	28.5%
	街並みや街の雰囲気	92	27.1%
	買い物の利便性	130	38.2%
	公園・自然環境	172	50.6%
	地域コミュニティ	35	10.3%
	医療・福祉	27	7.9%
	子育て支援策	38	11.2%
	教育環境	10	2.9%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設)	82	24.1%
	文化・芸術活動	17	5.0%
	治安	27	7.9%
	自然災害の少なさ	19	5.6%
	道路環境	70	20.6%
	その他	27	7.9%
	無回答	20	5.9%
	計	863	-
	計(回答者数)	340	-



【1】 転入者アンケート調査

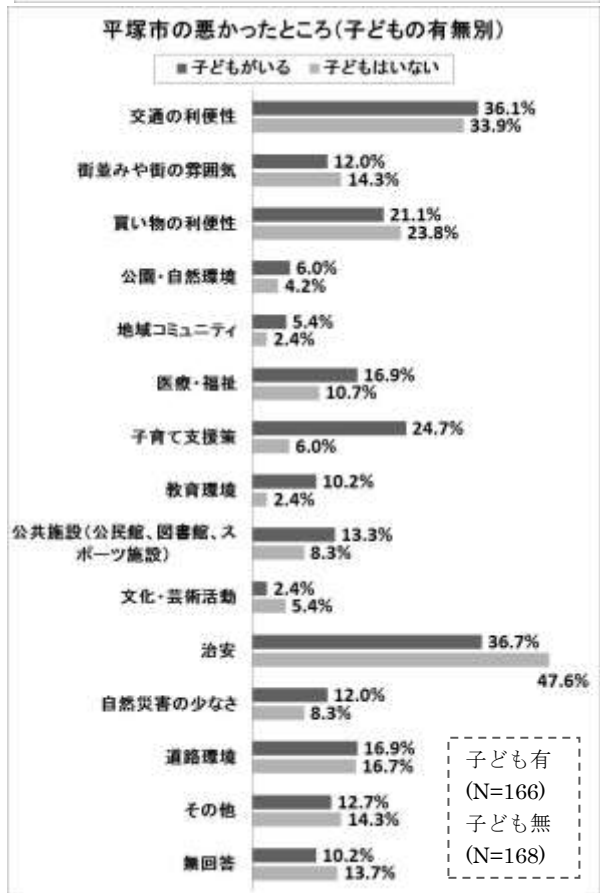
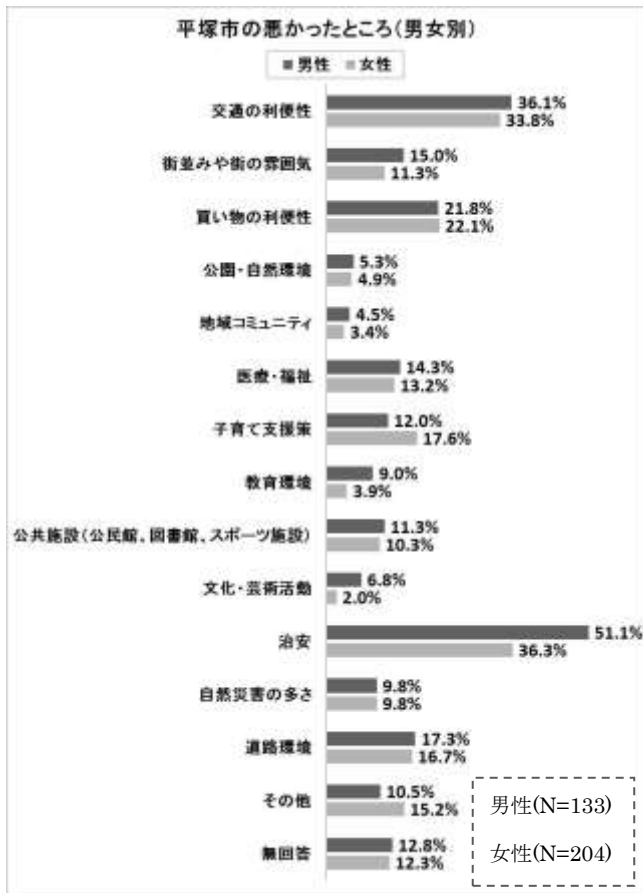
問20 平塚市に住んでみて悪かったところ (※複数回答可)

全体でみると「治安」が42.1%で最も高く、以下、「交通の利便性」34.4%、「買い物の利便性」22.1%、道路環境17.1%と続いている。

男女別にみると、「治安」を選択した割合は、男性が51.1%、女性が36.3%となっており、女性よりも男性の方が、平塚市の治安が悪いと感じていることがわかる。

「治安」は、男女別、年齢区分別、子どもの有無別のいずれにおいても高い割合を示している。

	印象(悪かったところ)	総数	割合
印象(悪かったところ)	交通の利便性	117	34.4%
	街並みや街の雰囲気	45	13.2%
	買い物の利便性	75	22.1%
	公園・自然環境	17	5.0%
	地域コミュニティ	13	3.8%
	医療・福祉	46	13.5%
	子育て支援策	52	15.3%
	教育環境	22	6.5%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設)	36	10.6%
	文化・芸術活動	13	3.8%
	治安	143	42.1%
	自然災害の多さ	34	10.0%
	道路環境	58	17.1%
	その他	45	13.2%
	無回答	43	12.6%
計	759	-	
	計(回答者数)	340	



【1】 転入者アンケート調査

問21 転入前の平塚市のイメージ（自由記載）

回答をキーワードごとに分割・分類したところ、「無回答」が35.9%で最も高く、以下、「治安」24.1%、「自然環境・景観」15.3%、「七夕まつり」11.2%と続く。

「治安」に関しては、ネガティブなイメージがほとんどであった。「自然環境・景観」については、田舎、海、自然が多いといったイメージがあげられているが、田舎については、回答者によって、ポジティブ・ネガティブそれぞれの捉え方が見られた。

「特になし」と「無回答」を合わせると、全体の40%を超えることから、転入前に本市のイメージをつかめていない方がかなり多くいることが分かった。また、市外の方にとっては、「七夕まつり」、「湘南」、「ベルマーレ」、「囲碁」といった本市の特色であるキーワードに関するイメージが比較的少なく、「治安」に関する否定的なイメージが多いという結果となった。

・転入前のイメージ意見

順位	分類	意見数	割合
1	無回答	122	35.9%
2	治安	82	24.1%
3	自然環境・景観	52	15.3%
4	七夕まつり	38	11.2%
5	その他	29	8.5%
6	交通・道路環境	27	7.9%
7	生活環境	23	6.8%
8	特になし	18	5.3%
9	街の景観	15	4.4%
10	ベルマーレ	13	3.8%
11	湘南	10	2.9%
12	子育て環境	7	2.1%
13	自然災害	3	0.9%
13	競輪	3	0.9%
15	教育環境	2	0.6%
16	囲碁	1	0.3%
16	ベ이스ターズ	1	0.3%
	意見数	446	
	回答者数	340	

【1】 転入者アンケート調査

問22 転入後の平塚市のイメージ（自由記載）

回答をキーワードごとに分割・分類したところ、「無回答」が38.2%で最も高く、以下、「生活環境」17.4%、「交通・道路環境」12.6%、「治安」12.4%、「自然環境・景観」11.2%、「街の景観」9.4%と続く。

「生活環境」、「自然環境・景観」、「子育て環境」では、「住みやすい」、「子育てしやすい」、「住むには良い」などの表現が多く見られた。「交通・道路環境」、「治安」、「街の景観」に関しては否定的な意見が多く見られた。

「特になし」と「無回答」を合わせると、全体の40%近くになることから、転入後もなお本市のイメージをつかめていない方がかなり多くいることがわかった。また、「七夕まつり」、「湘南」、「ベルマーレ」、「囲碁」といった本市の特色であるキーワードに関するイメージは、転入前と同様に少ない結果となった。

・ 転入後のイメージ意見

順位	分類	意見数	割合
1	無回答	130	38.2%
2	生活環境	59	17.4%
3	交通・道路環境	43	12.6%
4	治安	42	12.4%
5	自然環境・景観	38	11.2%
6	街の景観	32	9.4%
7	子育て環境	21	6.2%
8	その他	20	5.9%
9	七夕まつり	10	2.9%
10	特になし	5	1.5%
11	ベルマーレ	2	0.6%
11	自然災害	2	0.6%
13	湘南	1	0.3%
13	囲碁	1	0.3%
13	ベ이스ターズ	1	0.3%
-	競輪	0	0.0%
-	教育環境	0	0.0%
	意見数	407	
	回答者数	340	